

校長室から



7月の全校朝礼にて

7月5日(月)の毎月定例の「朝の集い」(全校朝礼)で附属小のこれからを話しました。

児童会の「自然とのふれあいの餌やり」で野生生物が学校のそばにたくさんやって来ます。驚いたことに、学校のあるところでムササビが2匹の赤ちゃんを生み、無事に育てています。場所はまだ言いません。みんながそばでにぎやかにすると、赤ちゃんを育てなくなりますからね。でも、すくすくと育てています。巣から出てくるのが楽しみです。

お勉強での素晴らしさもあります。都留文科大学の協力です。全校実施の附属小英語には実は文大の教授が計画づくりの協力をしてくださっています。ALTや英語の先生が毎日ずっといてくれるのもこのおかげです。1~4年生も英語を楽しく学べるのも市内では附属小だけです。他にも野生生物について文大教授に教わったり、3Dプリンタが物を作るのを見たり、コンピュータロボットやプログラミング学習等、様々な学習でも文大にお世話になっています。これらも附属小の素晴らしさです。

しかし、日本中で子どもの数が減っています。附属小の今年の全校児童は36名、10年前72名で今年の2倍、では80年前は何人いたのでしょうか。実は、336名もいたのです。今年の10倍近くです。これは大きな戦争が終わった昭和20年(西暦1945年)の児童数です。子どもが少な過ぎるのも寂しいですね。校長先生はたくさんの新入生が来てくれるように、(開地保育園の協力を得て)開地保育園の園児のご家族にもコンピュータで学校便りを送っています。同級生がどの学年も7人から10人くらいいるといいなと校長先生は考えています。みなさんも機会があったら小さい子に附属小のことを教えてあげてください。たくさんの新入生が来るといいですね。

本日終業式では、1年生は小学生らしい顔に、2年生は落ち着き、3年生は穏やかな顔に、4年生は高学年らしい顔に、5年生は協調した姿に、そして6年生は頼れる長男長女になっていました。

大学教授陣とのつながり

大学とのつながりが附属小らしさを作っています。ご紹介します。

- 1) 全学年英語科教育課程への文大教授の参画
- 2) 文大教授及び都留市教育研修センターと連携して小学校外国語教育パネルディスカッション実施
- 3) 3、4学年生き物調べ学習への文大教授の指導(総合・理科)
- 4) 文大准教授による3・4学年算数とパソコンクラブのプログラミング学習指導
- 5) 文大准教授による3Dプリンタの動作実演、段ボールミニコンピュータロボット展示と動作
- 6) 文大准教授指導の下での県外児童とのネットワーク交流(構想中・コロナ中断)
- 7) 放課後学習支援(学部生、通称SAT-A)
- 8) 授業支援(学部生、通称SAT-BとSAT-C)
- 9) 授業支援と授業(大学院生教員免許保持者、附属小のみ)前号にて説明
- 10) スウェーデン人文大留学生附属小訪問(中断)
- 11) 英検Jr.検定と問題集購入(文大補助・全児童)
- 12) 算数検定と問題集購入(文大補助・全児童)
- 13) 漢字検定と問題集購入(文大補助・全児童)
- 14) 文大でのミニミニ大学(コロナにてZoom交流)
- 15) 都留文科大学附属小学校連絡協議会を設けて文大と全面協力(大学規定に編入済み)

附属小は組織上の文大との上下や帰属の関係は一切ありませんが、文大の大学院生も含めた学生への教育の中心が児童生徒への豊かな教育であることから、附属小とは最大限の協力関係があります。

おかげで少人数の児童にたくさんの専門家の知恵をきめ細かに伝えることができます。

大学生SATの1学期アンケートから

<児童（放課後SAT）>

- ・一回取り組んだことをもう一回取り組めたことが良かった。
- ・好きな割り算の筆算が楽しくて、早く計算できるようになった。
- ・わからない勉強など復習してくれて、結構わかりやすくて楽しかったです。
- ・帯分数に直すのがよくできるようになった。

<保護者（放課後SAT）>

- ・子どもがとても楽しそうにSATの先生の話をしてくれました。
- ・勉強に加えて、SATの先生方とのコミュニケーションも楽しみの一つだったようです。
- ・「プリントの問題が簡単すぎて、もっと難しい問題にもチャレンジしたい」そうです。
- ・宿題も見えていただき、帰宅後の時間にも余裕ができました。

<大学生>

- ・丸付けが遅くて子どもたちを伸ばすのが難しくてごめんなさい。
- ・児童がとても気さくに話しかけてくれるので、良い雰囲気を取り組んでいます。
- ・SATで克服して、授業でその学びを生かしたと聞いたときにとってもやりがいを感じます。
- ・教えるときの話し方や内容を改めて考えられて、子どもたちから学んでいます。

勉強以外にも交流の中で様々なつながりやら喜びがあるようです。年齢の近いお兄さんやお姉さんということで、初めから親近感もあるようです。楽しく学習していました。

10月1日は何の日？

10月1日は全国の教育委員会で来年度の児童生徒の入学先学校を確定する日です。つまり誰がどこの小学校や中学校に行くかが決まる基準日です。その後も引っ越しや仕事の異動等で変更はありますが、入学説明会等の様々な通知配布等がこの日以降始まります。

本校は教育課程特例校ですから、教育委員会への申請と許可で都留市内在住者なら本校通学が可能になります。夏休みを挟んで10月はあっという間に来ます。保護者負担なしで算数検定や漢字検定、英検Jr.検定を全校児童が受検できて、結果が良ければ合格証も届きます。

本地区以外の方も、そんな教育に興味があったら附属小通学を検討してみてください。後から多くの希望が集まると通学できなくなるかもしれません。夏休みに是非ご検討を・・・



QRコードは<都留文科大学附属小学校ホームページ>URLです。
子どもたちやムササビもいます。アクセスしてみてください。